

監修者のことば

従来、この種の事典はスキルやノウハウを優先させた実践学としての色彩が濃かった。それはジャーナリズム学が、職業的実践の一つの場としてのジャーナリズムに関する学際研究として位置づけられてきたからだ。しかし、本事典は編者のボブ・フランクリンも指摘するように、ジャーナリズム研究を社会学や政治学、経済学、歴史学、言語学、心理学といった伝統的な社会科学や、人文科学が交差する応用科学の一分野としてとらえ、そのための研究の基本概念を提示しているところに特徴がある。したがって、本事典はジャーナリズムやメディア研究を専攻する学生は言うに及ばず、ジャーナリストまたは現場出身のジャーナリズム研究者にとってもきわめて有益な事典として、英米はむろんのこと現在では中国やインドでも広く愛読されている。日本においても学問の裾野を広げるために、上記の諸科学に関係する人の研究や教育の指針にもなればと願うのである。

門奈直樹

ジャーナリズムを学ぶ学生に
ジャーナリズム研究者に
マスコミ関係者に

A5判・上製・カバー装
約450ページ
予価3,500円
ISBN 978-4-336-05027-4

2008年6月刊行予定

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427
<http://www.kokusho.co.jp>
e-mail:info@kokusho.co.jp

お取り扱い書店

ジャーナリズムに関わるすべての人へ

ジャーナリズム 用語事典

ボブ・フランクリン

[編著]

門奈直樹

[監修]

国書刊行会

本書の特色

ジャーナリズムに関する系統的な構成

〈ジャーナリスト〉〈メディア〉〈全国新聞〉などといった基本的な用語だけでなく、コンピュータ関連、歴史、経済、言語学に関わる用語に至るまで、ジャーナリズムを学習、研究する上で必要なあらゆる分野を網羅。

重要なキーワード、232項目

インターネット、オフレコ——日常的に使われていても本当の意味はよく知られていない用語や、イギリス特有の用語も、語源、歴史、意味を解説。事典としてだけでなく、研究の手引きとして役立ち、読み物としても楽しめる1冊。

ジャーナリズム研究の先進国、イギリス

ジャーナリズムを学問として確立し、研究してきた歴史のあるイギリスで出版された本書には、イギリスの放送、新聞、通信に関する情報が豊富。イギリスを知ること、世界のジャーナリズムを知る手がかりに。

イギリスの研究者達が集結

イギリスの大学で教鞭を執るだけでなく、ジャーナリズムの現場でレポーターや編集者などのキャリアがある著者達が、自らの研究と経験を元に各項目を執筆。

付録、索引も充実

監修者による解説をはじめ、欧文索引、日本語索引の他、原著に掲載されているイギリスのジャーナリズム関係機関一覧、用語集、参考文献もすべて収録。

収録用語の例 (順不同)

アクセシビリティ
アカウントビリティ
広告
記事広告
身上相談回答者
オルターナティブ・メディア
エイプリル・フール
視聴者、受け手
放送
ブロードロイド
ブロードシート
カルカット委員会
検閲
小切手ジャーナリズム
発行部数
連語関係
法廷侮辱罪
コンテキスト
サイバースペース
名誉毀損
編集者
Eメール
公正
第五階級
フリート街
フリーペーパー
グラスゴー・メディアグループ
グローバリゼーション
ゴンゾー・ジャーナリズム
ハットン調査委員会
ハイパーテキスト
イデオロギー
情報アーキテクチャ
インフォテイメント
インタラクティビティ

インターネット
間テキスト性
インタビュー
ジャーナリズム
ジャーナリスト
地方新聞
マス・コミュニケーション
メディア
メタファー
全国紙
ニュース
通信社
ニュース・リリース
ニュース・バリュー
オフレコ
フォト・ジャーナリズム
プライバシー
プロパガンダ
公益
公共ジャーナリズム
公共サービス放送
ラジオ
王立新聞委員会
自己検閲
自主規制
スピンドクター
ステレオタイプ
記事
タブロイド
テレビ
ヴァーチャル・コミュニティ
ウォーターゲート事件
ウェブログ
WWW
イエロー・ジャーナリズム

編著者

ボブ・フランクリン

ハル大学で修士号と博士号を修得。ヨーク、ノーサンブリア、キール、リーズ、シェフィールドの各大学で教壇に立った後、シェフィールド大ではジャーナリズム・スタディーズの研究部長 (Director of Research) を勤めた。2005年2月からカーディフ大学に迎えられジャーナリズム・メディア担当の大学院教授の任にある。

監修者

門奈直樹 (もんな なおき)

1942年生まれ。同志社大学大学院卒。立教大学助教授を経て1984年から教授。2008年3月、同大学退職。同年4月から京都産業大学経営学部に移籍。英レスター大学マスコミ研究所客員研究員、立教大学社会学部長、北京外国語大学大学院日本学研究所教授などを歴任。『現代の戦争報道』(岩波新書)、『民衆ジャーナリズムの歴史』(講談社学術文庫)、『ジャーナリズムの科学』(有斐閣選書)など著書多数。

著者一覧

ボブ・フランクリン Bob Franklin
マーティン・ヘイマー Martin Hamer
マーク・ハンナ Mark Hanna
マリー・キンジー Marie Kinsey
ジョン・E・リチャードソン John E. Richardson

翻訳者一覧 (50音順)

奥田祥子	柏木友紀	小峰満子
田辺龍	友松郁子	中正樹
本田量久	水原俊博	吉田則昭

※内容は変更になる場合があります。